

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 5 月 19 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		みずき台1号線交差点改良事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名	上原 哲也
	施策	3	交通安全対策の推進		所属課	建設課	担当者名	川俣 洋一郎
	基本事業	10	交通安全施設の整備		所属班	工務班	(内線)	2277
法令根拠								
予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3
	事業連番	11261			<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
							コスト削減優先度評価結果	11
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度	年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (20 ~ 24		年度)
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 平成10年に開発された住宅地内(旧合志町、旧西合志町の町境)の道路と接続する市道の交差点で、朝・夕の通勤時に非常に混雑し渋滞を招いている。また、接触事故等も多発しており、交通安全性に支障をきたしていることから、安全安心に通行できる交差点改良を行う事業。								
【業務の流れ】 20年度に予備設計委託(交通量実態調査含む)、21年度に詳細設計委託、23年度から用地取得、24年度から交差点改良工事を行う予定。								
【主な予算費目】 事業費は委託費(測量設計)、公有財産購入費(用地取得費)、補償費、工事費に支出される。								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 詳細設計委託、関係機関協議 ※みずき台地区東部の2箇所の交差点を対象
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 予備設計委託(交通量実態調査含む)、関係機関協議 ※4箇所の交差点を対象 この事業の事業開始時の目的は、みずき台地区東部に位置する2つの変則交差点が非常に見通しが悪く、交通安全性に支障をきたしていることから、交差点の整備を行うものであった。しかし、さらに東側に2つの変則交差点が隣接しており、交通渋滞等を引き起こしていることから、併せて調査を行うこととなった。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア 交差点改良工事 箇所 イ 用地買収面積 m
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 みずき台1号線道路他(交差点部)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア 交差点改良箇所 箇所 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 快適に移動できるようにし、通行の安全を確保する	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア 整備率 % イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 事故誘発の要因とならない道路になっている	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア 設置箇所数/地区からの要望箇所の内、必要と判断された箇所数×100 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 20 ~ 24 年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円								総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 22 年度
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円			7,600	5,600	5,700	0	28,500	
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円			400	385	300	0	1,500	
	(A) 事業費計	千円	0	0	8,000	5,985	6,000	0	30,000	
	うち指定経費	千円			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	うち時間外、特殊勤務手当	千円			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
	人件費									
正規職員従事人数	人			2	5	2	0	2		
延べ業務時間	時間			480	406	480	0	480		
(B)人件費計	千円	0	0	1,910	1,616	1,910	0	1,910		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	9,910	7,601	7,910	0	31,910	94,432	
活動指標	箇所			0	0	0	0	0	0	
	m			0	0	0	0	739	0	
対象指標	箇所			2	2	2	2	2	2	
成果指標	%			0	0	10	10	40	0	
上位成果指標	%			92	92	93	95		95	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
本路線は住宅地内の道路と接続する市道の交差点で、朝・夕の通勤時に非常に混雑し渋滞を招いている。また、見通しが悪く交通事故も多発しており、交差点改良を進める必要があるため計画した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
本路線は旧合志町と旧西合志町を結ぶ重要路線であり、合併によりこの地域が一体化していくことから、交通量が今後も増加していくことが予測される。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
渋滞及び事故多発地点でもあるため、区から早期の改良要望が寄せられている。また、平成20年9月に新開区及び黒石原区より大津警察署に対して信号機設置の陳情書が提出された。

事務事業名	みずき台1号線交差点改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 交差点改良後は、地域の安全性の確保とともにスムーズな通行が出来るため、事故誘発の要因とならない道路に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 本路線は市道であり、安全かつ快適な通行を図ることは市の義務であるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 道路整備は、通行車両等において必要不可欠な事業であり、施工後は快適に移動できる手段として利用されるため、意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事業採択より1年目に予備設計委託(交通量実態調査含む)、2年目に詳細設計委託、4年目より用地取得、5年目より工事を実施し、整備率100%を果たす。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 交差点の整備を行わなければ、安全な通行に支障をきたすため、事業を廃止・休止することは地域の活性化を阻害することとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているため削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 本事業は、積算業務等、外部に委託することで入札等に支障をきたす恐れがあるため、必要最小限度内において職員を分担している。よって正職員以外の職員は担当できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>①目的妥当性については、…。</p> <p>②有効性については、…事業採択より1年目に予備設計委託(交通量実態調査含む)、2年目に詳細設計委託、4年目より用地取得、5年目より工事を実施し、整備率100%を果たす。</p> <p>③効率性については、…。</p> <p>④公平性については、…。</p>
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	7	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)